

12月17日

辻監督・緒方監督も野球指導

佐賀県出身プロ野球県人会の第33回少年野球教室が神埼中央公園グラウンドで開かれました。県内から小中学生約370人が参加、現役選手ら17人から指導を受けました。今回は西武ライオンズの辻発彦監督、広島カープの緒方孝市監督も指導にあたり、多くの保護者も見学に訪れ盛況でした。

開会式の後、打撃と守備に分かれ上達のコツを伝授。打撃指導では「腕だけでなく、腰の回転をしっかり」、守備では「捕球後に早く投げるには、右足を早く出すこと」などとアドバイスがありました。真剣な表情でバットスイングをする中学生が「今の振りはいい」と辻監督から言われ、にっこりする姿も。

また、県人会チームと中学生選抜チームとの交流試合やお楽しみ抽選会もありました。



1月9日

神埼中剣道部女子 日本一に

兵庫県で開催された内閣総理大臣杯授与第35回若鷲旗剣道大会で神埼中剣道部女子が優勝、剣道部男子がベスト8に輝き、活躍を市長に報告しました。

決勝戦までの全試合が接戦で緊迫した展開となりました。主将の松本奈々さん(神埼町犬の目)は「3年生が引退したチームで初めての優勝でうれしかった。きつい稽古をみんなで乗り越えることができた」と笑顔で語りました。

部員数は、団体戦に必要な5人のみですが、力を合わせて1本をつなぐ剣道を継続し、3月の神埼市長旗大会や夏の全国中学総体で優勝を目指します。



12月15日

水田栽培の菱の実を収穫

千代田町高志地区で水田栽培されている「菱の実」の収穫が行われました。

収穫には、西九州大学、神埼和菱組合、和びし研究会、神埼菓子組合、地区の住民に加え、「ふるさと学習」として神埼のことを学んでいる千代田中部小・西部小の3年生も参加しました。

子どもたちは水が抜けて土の上に落ちている菱の実を、トゲに注意しながら一つ一つ丁寧に拾い上げていました。

収穫した菱の実、神埼菱焼酎やひしぼうろなど神埼ブランドの原料として使用されます。



1月13日~19日

いけばな子ども教室発表会

市役所脊振支所の玄関ロビーで伝統文化いけばな脊振こども教室の作品が展示され、来訪者の目を楽しませました。

小学1年生から5年生が、マグカップに色とりどりの花を生けたもので、個性豊かな作品が並びました。

脊振こども教室は、月に1回脊振公民館で稽古し、生けた作品を各種イベントはもちろん、高齢者福祉施設などにも展示しています。

支所を訪れた市民は「子どもたちの華やかな生け花に元気をもらった」と、子どもと脊振住民の交流の場にもなっています。



1月14日

振り込め詐欺を防ごう

被害が増える「振り込め詐欺」にあわないよう、神埼町柏原地区の老人会・米寿会が柏原公民館で講習会を開き、高齢者など約30人が参加しました。神埼警察署の署員が巧妙になる手口などを紹介、注意を呼び掛けました。

被害者は半数が65歳以上で、ほとんどが女性。「私は大丈夫」と思っている人が被害にあうことも多く、家族で合い言葉を決めるなど、対策を考えておく冷静な対応ができるそうです。

会では「家族で話し合い、振り込め詐欺の被害をださないように」と呼びかけました。



1月7日

地域防災への決意新たに

毎年恒例の神埼市消防団の出初式が、神埼中央公園グラウンドで開かれ、吉田貴大団長以下566人の団員が参加しました。

式では、団長が「異常気象による大規模災害の増加により、消防団への市民の期待が高まっています。団員一人ひとりが大切な人、まちを守る、地域防災のリーダーとして研鑽を積んでいきましょう」と訓示。功績者の表彰や、通常点検、分列行進が行われました。

式の後には、第一分団(神埼町)と第六分団(千代田町)の団員が、締め込み姿で昭和30年代から続く馬簾^{ぼれん}回しを披露。赤青緑の三色の放水を受け、馬簾が勢いよく回り始めると歓声が上がりました。



神崎市を第二のふるさととして、

地域社会に溶け込み、

生き生きと暮らしている人たちを

シリーズで紹介します。

第二のふるさと

よかね神埼 ⑦

鍋島緞通が結ぶ縁

鍋島緞通の手織工房「織ものがたり」を佐賀市の旧長崎街道筋で営んでいる木下真さん(41)と妻の由紀子さん(43)。兵庫県出身の真さんと久留米出身の由紀子さん、遠く離れたふたりを結び付けたのが佐賀の伝統的な織物である鍋島緞通でした。福岡の大学を卒業後、真さんが就職した鍋島緞通の織元で、将来の伴侶となる由紀子さんと出会いました。結婚後、三人の子宝に恵まれた木下さん夫妻にとって、織元の佐賀への移転が人生の転機となりました。

神埼に一目ぼれ

移転に伴い佐賀県内に住まいを求めた木下さんですが、二人とも緑に囲



神埼町朝日地区

木下 真さん 由紀子さん



まれた環境であれば最初はどこでもいいというのが本音でした。ところが、いざ探し始めるとなかなかピンとくる所がない。土地探しが暗礁に乗り上げた時、若いころドライブしていた霧囲気が良かった神埼方面まで足をのびました。たまたま売地が出ていて、水がきれいで自然も豊かで、一目で気に入ったそうです。「地域の皆さんも子どもが増えたと大歓迎してくれたのがありがたかった」と当時を振り返ります。

自然の中で子育て

三人の子どもを豊かな自然の中で育てたいという思いが強かった木下さん。子どもたちは近所の友だちと一緒に、虫捕りやキャッチボールなど、外遊びを満喫しています。仁比山小学校のPTA会長も務める真さんは、忙しい合間を縫って地域の活動にも積極的に参加。5年前に工房を開設してから土、日曜も仕事で家を空けることが多くなりましたが、その分、子どもたちとの時間を大切にしたいと声を揃える木下さん夫妻です。

私のお気に入り

白角折神社

朝日地区の白角折神社おしとりので、しめ縄作りや夏祭りの神事を行っています。子どもから大人まで参加する「しめ縄作り」は、一度中断していたのを「後世に残して行きたい」と、地域の有志が再開したものです。手取り足取り指導してもらえるのがありがたく、子どもたちはみんなで食べる焼き芋をとても楽しみにしています。



吉野ヶ里歴史公園から

◎申込・問い合わせ
吉野ヶ里公園管理センター
☎55-9333

2月の体験プログラムのお知らせ

1月から2月にかけては、一年で最も寒い時期になります。
写真は最近で最も積雪の多い時に撮影したものです。
弥生時代の古代人もこの雪の中、竪穴住居の中で暖をとり、
一面銀世界を眺めたことでしょう。



♪吉野ヶ里歴史公園も銀世界になりました♪

古代植物館の体験プログラム

限定体験プログラムを紹介します！

プログラム	日時	定員・条件	参加費
染色体験コサージュづくり	2月10日(土)～12日(月・振) ①10:30～ ②13:30～ ※1週間前までの申込み	各日先着10人 所要時間:1時間30分 ※小学生以上、エプロン持参 または汚れてもよい服装	300円
こだわりの土器づくり	2月17日(土)・18日(日) 10:00～ ※1週間前までの申込み	各日先着20人 所要時間:約3時間 ※小学4年生以上	500円
石器づくり	2月24日(土)・25日(日) ①10:30～ ②13:30～ ※1週間前までの申込み	各日先着10人 所要時間:1時間 ※小学4年生以上	300円～500円

第4回 吉野ヶ里歴史公園 歴史講座 テーマ:「邪馬台国時代の食」講師:高島 忠平氏
○とき 2月10日(土) 13:30～ ○参加費 500円(食料費) ○定員 20人※事前申込み
※入場料は別途必要(大人:420円/こども:80円/シルバー:200円)

文芸コーナー

俳句 〈へびの実会〉

三代を生きて迎えるお正月

藤山 初次

肩張りて除夜の鐘撞く男の子かな

牟田口則子

君を待つときめきのあり冬牡丹

香月富士雄

潔き心の少し大晦日

田原 静子

手渡せる七福神の年賀かな

畑石 勝子

何時かと陽の照りを見る寝正月

内川 繁子

音を聞くだけの今年のどんと焼き

井上 豊美

年明くる楼門夫と潜りをり

牟田 鶴美

帰りきし息子に貰ふお年玉

古賀 恵子

あらたまの光みなぎる野山かな

松本 都子

川柳 〈へおほき〉

常日頃階段使い若返る

真島 永治

おだててもその手に乗らぬ家の孫

森崎 寛次

はばたけよ長男叱る親心

柳郷 勝吉

生も死も受入れてから波立たず

佐藤久仁子

春を待つ草木もわれも希望あり

若菜 花子

苦の先に未来が見えて笑う春

古川 妙子

あれこれと腹に詰め込むバイキング

真島 壽子

新しい色をぬりましょまたあした

吉村 民子

カラオケでマイク握ると人変わり
吉岡 明美

短歌 〈神埼短歌会〉

新年の光いっぱい亭けとめて

生きの弾みの九十四歳

四世代揃ひて新春寿ぐに

亡夫の写真のほほえみて見ゆ

いましばし思い出ばなしつづけたし

あと幾たびの会にやあらむ

太陽の輻射の熱に指ぬくし

凍える手先の文字すらすらと

五ヶ山ダム土手の傾の樹氷の華

車を止めてシャッターを切る

理不尽な運命かとみる破れ蓮に

水鳥のきて友のごと添う

メールあり二月五日帰省すと

三年振りの息子空港に待つ

ろう梅の花に目白の飛び交いて

初陽あまねし新春齋う

早朝のマイナス三度身に染みる

寒さのりこえ今日も頑張る

軒先に吊せる玉葱春の陽に

新芽あおあを落つるかまえ

千代田

石田千津代

山邊 信弘

納富 茂子

羽野 智子

野中 香代

田中 と代

前山ツタエ

城島 孝子

坂井 栄子

中原 幸

城島 孝子

坂井 栄子

中原 幸

あつまれ! かんざきっ子



はたち しょうた
畑地 翔太くん(1歳)

【神埼町本堀】

《家族からのメッセージ》

強くて優しい子になってね♪
いつまでも兄弟仲良くね!



にしかわ ひな
西川 日菜ちゃん(1歳)

【千代田町詔東】

《家族からのメッセージ》

いつもはこはこのがわいい
日菜ちゃん。
元気で明るい女の子になってね♪



ふくだ まお
福田 真凰くん(2歳)

【千代田町迎島】

《家族からのメッセージ》

いつも元気なまおくん♡
みんなを元気にしてくれてありがとう
これからもあくあくのびのびと大き
なあれ。

子どもの写真 募集中!!

- ◆対象者 平成30年3月31日現在で就学前のお子さん
 - ◆申込方法 ①お子さんの氏名(ふりがな)②年齢③生年月日④申込者の氏名⑤住所⑥地区名(行政区)⑦連絡先⑧保護者(家族)からのメッセージ(50字程度)を記載し、申し込み先へメール、郵送または、ご持参ください。
- (注意)・写真の加工(ペイントなど)はご遠慮ください。
・兄妹でご応募の際は、兄妹が1枚に写った写真をご提出ください。
※応募者多数のときは、掲載できない場合があります。

◎申込・問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088 kouhou@city.kanzaki.lg.jp

ぶんぶんテレビ だけの
ぶんぶんテレビ11チャンネル は **ず** 子どもの成長を **ず**っと **放送**しています!!

第1回 ぶんぶんテレビ杯 ミニバスケットボール大会 放送!!

◆初戦ダイジェスト

2/4 日 14:00 女子
15:15 男子

◆決勝

2/12 月・祝 17:30

出場
予定!
神埼男子ミニバスケットボールクラブ
千代田男子ミニバスケットボールクラブ

ぶんぶんテレビ

0120-55-3734

〒840-0815 佐賀県佐賀市天神 3-2-24

神埼市の地域情報を見られる

「地デジプラン」は 1,400円+税/月から!

有料広告